

## 入学式 学校長式辞

思いのほか早い春の訪れでしたが、桜の花もこの入学式を心待ちにしていたように感じます。

本日ここに、育友会長 山川 実 様をはじめ、ご来賓並びに保護者の皆様のご臨席を賜り、平成三十年度岐阜県立池田高等学校入学式を挙行できますことは、誠に大きな喜びであります。

ただ今、入学を許可いたしました百六十名の新入生の皆さん、池田高校への入学おめでとうございます。私も皆さんの入学を心待ちにしていました。また、お子様のご入学、誠にありがとうございます。保護者の皆様には、高いところからではございますが、心からお祝いと歓迎を申し上げます。

皆さんは、大変厳しい入学試験に合格し、本日、晴れて本校への入学が認められました。これは、皆さん一人一人の努力の賜物であることは勿論ですが、ご家族や先生方など、多くの人に支えられて、手にすることができたのです。長い間支えてくださった方々への感謝の気持ちを決して忘れないください。

本校は、昭和五十九年に設立された県内で最も新しい高校です。今年度は開校三十五年目を迎え、すでに八千七百名を超える卒業生が地元西濃地域はもとより、県内外で広く活躍しておられます。

今年度から女子生徒の制服が新しくなりました。十分な検討を重ね、生徒の意見が反映されています。また、校舎等の改修が行われて学校施設が整備され、より快適な学習環境が整いました。新入生の皆さんは先輩方から引き継いだ伝統を守り、新たな発展を遂げる学校の一員として勉学に取り組んでほしいと思います。

本校の教育目標は「知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな、心身ともに健全な人間形成、現代社会に貢献できる人間の育成」です。この目標を達成するために、「向学」「友愛」「練磨」という校訓を定め、きめ細かな教育を行っております。

「向学」とは、学問に志し、勉学に励むことです。「友愛」とは、先生と生徒の間の師弟愛や生徒同士の友情を育み、豊かな人間関係を築くことです。「練磨」とは、心や身体、技術を鍛え、人格や才能を磨くことです。本校においては、学校行事や部活動、あるいはボランティア活動などを通して心身を成長させることを意味しています。この校訓を十分に理解・実践し、充実した高校生活を送ってほしいと願っています。

さて、高校生活を始めるにあたって、皆さんに伝えたいことが二つあります。一つは、高い志を持って、自分の夢に向かって挑戦を続けてほしいということです。夢を夢のままにせず、ぜひ実現してほしいと思います。皆さんの挑戦は、時にはうまくいかないことがあるかもしれませんが、しかしそれは、より難しいことに挑戦しようとしている証なのです。努力を続ければ、確実に成功は近づいてきます。専門の分野において成果を上げておられる方々は、「失敗の中から多くのことを学んだ」あるいは「忍耐強く続けることが大切である」と言っておられます。不利な状況を逆に成長の糧となるよう挑戦してください。

もう一つは、様々な分野で活躍できるグローバルな視野を持った人材になってほしいということです。急速にグローバル化が進む現代社会においては、様々な視点を持つことが必要です。本校は三年前に県内で初めてユネスコスクールとして承認され、ESD(持続可能な開発のための教育)への取り組みとして、福祉教育、国際教育、環境教育に重点を置いています。このことにより、現代社会の課題を自らの問題として捉

え、身近なところから取り組むことで、課題の解決につながる新たな価値観や行動を生み出すこと、そして、それによって活力ある社会を創造していくことを目指しているのです。身の回りにある問題を一つずつ解き明かしていくことが、やがて社会に存在する大きな課題を解決する力になっていくのです。広い視野を持ち、社会から求められる人材になるための基礎を、この三年間で身に付けてください。皆さんの活躍を大いに期待しています。

最後になりましたが、保護者の皆様には、重ねてお願い申し上げます。学校といたしましても、全職員一丸となって真摯に教育活動に取り組み、お子様の成長のために全力で支援してまいります。どうか、本校の教育方針をご理解いただき、ご支援とご協力をお願い申し上げます。

新入生の皆さんの、池田高校で学ぶ三年間が価値ある高校生活になることを心から期待して、式辞といたします。

平成三十年四月九日

岐阜県立池田高等学校長 松井 千昭

